

里帰りプロジェクト寄付金を得て、国連環境計画（UNEP）が 実施した活動についての概要

グリーンフィンによる、アジア地域の観光セクターにおける環境に配慮した ダイビングおよびシュノーケリングの促進

グリーンフィンは、ダイビング業界によるサンゴ礁など海洋環境への悪影響を抑えることを目的とし、2004年から国連環境計画とリーフワールドの共同事業として実施されています。現在、スキューバダイビングのライセンスを所持するダイバーは世界各地で2千万人以上いると考えられています。ダイビング業界は東南アジアの観光セクターにとり重要であり、サンゴ礁の保全は国の経済にとっても重要です。スキューバダイビングやシュノーケリングは、ダイバーがダイビング中にサンゴに接触したり、ダイバーを乗せた船などによるダメージ等、サンゴ礁に様々な悪影響を及ぼします。グリーンフィンでは、ダイビングやシュノーケリングを扱う観光業界においてダイビングセンターやその他の企業との協力のもと、サンゴ礁の保全に向けた取り組みを行っています。主な取り組みの例としては、アジア諸国、特に中国、日本や韓国からの観光客を対象とした環境に配慮したダイビングやシュノーケリングについての研修や意識向上を目的としたキャンペーンが挙げられます。グリーンフィンでは、それらの活動を通して、ダイビング業界が環境に与える影響について意識の向上を図るとともに、ダイビングを中心とした観光業がサンゴ礁に及ぼす悪影響を抑えることを目的としています。2016年の5月から12月にわたり、里帰りプロジェクトのサポートのもと、グリーンフィンでは以下の活動を行いました。

コンサルティングと研究活動

- フィリピン、マレーシア、日本の主な拠点における中国、日本、韓国のダイビング業界関係者、70名を対象とした公式会合の開催
- 北京、廈門市、マニラにおけるダイビングフェアにてグリーンフィンの取り組みや環境に配慮したダイビング、シュノーケリングの重要性についての周知を目的としたブース設置
- 中国、日本、韓国の企業が運営する、グリーンフィンと提携するダイブセンターにおける環境影響評価から得られたデータの分析

情報周知のための資料や教材のデザインと開発

グリーンフィンの取り組みについての教材や情報周知のための資料の日本語、韓国語、中国語版を作成しました。これらの資料は、研修用の資料、情報周知活動に使用する資料やビデオ教材を含みます。ダイビング業界の協力のもと、これらの資料や教材を使用した、ダイビングやシュノーケルのツアーに関わるスタッフを対象とした研修を実施しました。マレーシア、モルジブ、インドネシア、フィリピン、タイ、ベトナムにて実施されているこれらの研修では、ダイバーに対してサンゴ礁を傷つけないようなダイビングを行うための指導の仕方、ダイビング客を対象とした環境保護に関する合意書についての周知が行われています。

これらの他に、グリーンフィンでは以下の資料も作成しました：

- 旅行会社向けの環境配慮型の活動がビジネスにもたらす環境・経済面での利点についての資料、ダイビング客に旅行出発前に配布する環境に配慮したダイビング、シュノーケリングについての資料
- ダイバーによる海洋生物への直接的な影響、海中におけるグローブ着用による環境へのリスク、海ごみの問題についての意識向上を目的とした観光客向けポスターの作成

